北海道医師会館９階理事会室

第13回常任理事会

日　時　令和８年９月８日（火）18：00～19：34
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）長谷部常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　令和８年度北海道医師会表彰に関する件（目黒常任理事）

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員243名、役員・代議員２名、Ａ会員の病院・診療所・老人保健施設従業員422名、国公立等医療施設従業員102名、医師会職員９名、特別表彰１名の合計779名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者とし、次回理事会にて協議することと決定。

第２号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座８件を承認することと決定。

報告事項

１．予防接種事務のデジタル化に係る説明会［８月25日（火）・Web］について（末岡常任理事）

厚生労働省と日本医師会の協議により、予防接種事務のデジタル化に係る法令の建付けが明確化され、方針が再整理されたことを踏まえ、日医主催で開催された。松本会長の挨拶の後、笹本常任理事より、今回の制度では法令上の義務を負うのは国と自治体であり、医療機関に義務はないこと、方針の再整理により紙の予診票による事務は従来どおりとし、接種記録の登録事務のみをデジタル化することが基本となる旨の説明があった。続いて、厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課・倉吉紘子対策推進官より、予防接種事務のデジタル化の概要と、新たに立ち上げられた「医療機関における予防接種事務デジタル化ガイドライン等の策定に向けた検討会」において、電子カルテを軸とした適切なシステムや業務フローを検討していく旨の説明があり、その後、質疑応答が行われた。

２．日医シンポジウム「未来ビジョン”若手医師の挑戦”in KYOTO」（Web）および若手開業医と若手勤務医との懇談会［８月29日（土）］について（末岡常任理事）

今年度初めて地方開催され、京都府医師会が独自に企画している、若手医師の学び直しと指導スキル（プレゼン力）の向上を目的とした「Re-1グランプリ」等のプログラムを視聴した。引き続き、将来の医師会を担う若手医師同士の関係構築を目的として懇談会を開催し、自己紹介と若手医師専門委員会の活動紹介を行った後、懇親の場を設けて若手開業医と若手勤務医の交流を深めた。参加者は20名であった。

３．北海道医師会表彰選考委員会［９月７日（月）］について（目黒常任理事）

協議事項第１号で併せて報告。

４．第３回一般社団法人全国有床診療所協議会総会「滋賀大会」［９月５日（土）・６日（日）］について（鈴木副会長）

滋賀県医師会・髙橋健太郎会長が大会長となり、「地域医療を守る防波堤～少子高齢化の中での有床診療所の使命～」をメインテーマに開催された。１日目は総会行事に引き続き、特別講演Ⅰとして、日医・松本会長から「2040年に向けた有床診療所への期待―地域医療を守る防波堤として―」と題した講演後、丸の内の森レディースクリニック・宋美玄院長から「分娩無償化は周産期医療と妊婦の求める制度になるか」、日本産婦人科医会・石渡勇会長から「周産期医療における一次医療施設（特に産科診療所）の役割と現状」の講演が行われた。２日目は、特別講演Ⅱとして、厚生労働省・上野賢一郎大臣から「社会保障制度について」の講演後、日本医師会総合政策研究機構・江口成美主席研究員から「究極のかかりつけ医機能を果たす有床診療所―役割と今後の期待」と題した講演や、「地域を支える有床診療所」をテーマとしたシンポジウムが行われた。参加者は234名（うち道内より６名）であった。次回は来年７月10日（土）に香川県高松市で開催予定。

５．外部各委員会報告

⑴　第３回北海道高齢者保健福祉施策検討協議会［８月27日（木）］について（藤原副会長）

令和９年度北海道地域医療介護総合確保基金（介護分）の事業提案について報告があった後、第９期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画の基本目標や第10期同計画の基本的な考え方、骨子（案）の全体構成等の説明があり、意見交換を行った。

⑵　北海道HTLV-1母子感染対策協議会［８月27日（木）］について（寺本常任理事）

国の第16回HTLV-1対策推進協議会の概要、

妊婦健診におけるHTLV-1抗体検査および支援体制等調査結果等について報告があった後、今年度のHTLV-1母子感染予防対策研修会の開催について協議した。

⑶　第21回北海道がん診療連携協議会［８月28日（金）・Web併用］について（青木常任理事）

がん診療連携拠点病院やがん診療の中核を担う医療機関の代表者ならびに担当責任者が出席し、協議会版ロジックモデルの改訂および今後のスケジュールや北海道におけるがん診療データ利活用体制の構築および解析方針等について審議した。出席者は58名（会場44名、Web14名）であった。

⑷　北海道医療対策協議会「第２回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第３回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第２回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」［８月31日（月）・Web併用］について（佐古副会長）

現行の北海道医師確保計画の効果の測定・評価を説明後、次期計画における診療科偏在に配慮した医師確保の方針や目標医師数の設定等について協議を行った。また、地域枠医師の配置は、17圏域を基本として区域設定する見直し案が示され、その取扱いについて意見交換を行った。

⑸　第１回地域応援看護師確保対策検討会議［９月２日（水)］について（寺本常任理事）

未就業看護職員の道内派遣事業の令和７年度事業報告および令和８年度実施状況について説明があった。昨年度のLINEでの広告配信によりナースセンターホームページへのアクセス数が倍増する等して、本事業の認知拡大につながった。本年８月４日時点での実績は、29施設からの派遣要請に対し、応援者７名、応援後就職者１名である。

⑹　第１回離職看護職員相談事業協議会［９月２日（水)］について（寺本常任理事）

届出制度を活用した離職中の看護職員への再就業支援事業について、令和７年度の届出数が全国では前年度比93％と減少傾向であるのに対し、北海道は104％と増加したことについて説明があった。今年度は、効果があったLINE広告やプラチナナースの就業促進等を継続することとしている。

６．その他

⑴　道北ブロック会議［９月12日（土）・名寄市］の話題提供について（佐古副会長）

小職から話題提供する「新たな地域医療構想～各地域における病院統合（集約化）の動きに対する国および地方自治体の支援のあり方～」の講演資料について説明した。

⑵　自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」［10月13日（火)］について（荒木常任理事）

本懇談会の開催日時と令和８年度道政課題に係る要望事項案について説明した。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．地域医療専門委員会第２回在宅医療小委員会［９月１日（火)・Web併用］について（藤原副会長）

副委員長に村上英之委員を選任後、北海道医療計画（在宅医療）の中間見直し（素案）について協議した。在宅医療の需要について、地域医療構想による追加的需要や介護サービス量の見込みとの整合性を踏まえて再推計するとともに、訪問診療を実施する医療機関数、訪問診療を受けた患者数、訪問看護利用者数等の数値目標を見直す案が示された。

２．第３回救急医療専門委員会［９月１日（火)・Web］について（鈴木副会長）

救急医療体制および災害医療体制の北海道医療計画の中間見直しに係る素案の説明後、救急搬送人員の増加や長時間搬送、大規模災害への備え、関係機関の連携強化など、素案の修正内容について協議した。

３．第４回地域医療専門委員会［９月４日（金)・Web併用］について（佐古副会長）

今年度の病床数適正化緊急支援事業の第１回目の申請状況や地域医療介護総合確保基金（医療分）の内示および重点支援区域の申請について報告があった後、新たな地域医療構想における構想区域の設定、医療へのアクセス等について協議した。

４．地域医療専門委員会第３回周産期・小児医療検討委員会［９月７日（月)・Web併用］について（寺本常任理事）

第２回委員会での意見を踏まえた北海道医療計画の中間見直しの素案（たたき台）が示され、地域の出生数や分娩取扱施設の減少等を踏まえた周産期医療圏の見直しや、地域周産期母子医療センターの取扱い等について協議した。

第14回常任理事会

日　時　令和８年９月29日（火）18：00～18：30
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、佐古副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）鈴木副会長、長谷部・菅田両常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者１名を指定医師とすることと決定。

第２号　日本医師会会内委員会委員の委嘱依頼に関する件（目黒常任理事）

日医より依頼のあった医療政策会議の委員に松家会長、健康食品安全対策委員会の委員に旭川市医師会・滝山会長が就任することを決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座20件を承認することと決定。

第４号　第４回理事会［10月10日（土）・書面開催］の議案に関する件（目黒常任理事）

書面にて開催することと提出議案を決定。

第５号　第２回郡市医師会長協議会［11月８日（日）10：00・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

前回同様、Web併用にて開催することを決定。

第６号　北海道医師会創立79周年記念行事［11月８日（日）13：30・札幌グランドホテル］の開催に関する件（目黒常任理事）

前回同様、記念式典と記念講演を開催することを決定。なお、記念講演の講師は元厚生労働事務次官・大島一博氏を予定。

第７号　その他

⑴　10月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．第44回東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会［９月12日（土）～13日（日）・福島県郡山市］について（青木常任理事）

「医療と介護を繋ぐ医師会共同利用施設のこれから」をメインテーマに開催された。１日目は郡山市医療介護病院の施設見学の後、懇親会が盛大に行われた。２日目は、アクアマリンいなわしろカワセミ水族館・岩田雅光館長による特別講演「アクアマリンふくしまのシーラカンス調査から見えたこと」、日本医師会・松本会長による基調講演「医療を取り巻く最近の動向と日本医師会」が行われた。その後、「在宅医療・介護連携の新しい姿」をテーマに、各道県から推薦された７名によるシンポジウムが行われ、北海道からは、函館市医師会病院医療・介護連携課・加藤美千代課長が「地域における当院の役割と取り組み」と題し発表した。参加者は125名であった。次回は、令和10年９月に岩手県盛岡市で開催予定。

２．第１回都道府県医師会長会議［９月15日（火）・日医会館］について（松家会長）

「令和９年度介護報酬改定」をテーマに、当会が属さないＡグループ（青森県ほか７医師会）が議論した後、同テーマに対する日医への質問の回答が行われた。各医師会からは、介護職員の賃金が一般産業の平均より低いことから、処遇改善加算だけでなく基本報酬の引き上げが不可欠との意見などがあった。最後に、日医・城守副会長から、報告が義務化されているかかりつけ医機能報告制度について、本年７月現在での全国の報告率が80.46％で、そのうち１号機能「有り」が57.7％となっていることや、１号機能「有り」での報告の必要性の説明があり、全国の医師会に対し、さらなる周知を求めた。

３．各部報告

⑴　道内医育大学との連携に係る北海道医療対策協議会分科会の設置について（佐古副会長）

北海道は、本年９月１日に、道内三医育大学と四者による連携協定を締結し、これまで各大学と個別に調整を行ってきた医師派遣を、大学間の垣根を超えて進めることとした。また、今後の協議に向けては、北海道医療対策協議会の下に新たな分科会を設置することとし、当会が参画することとなった。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．地域医療専門委員会第３回薬剤師確保対策小委員会［９月８日（火）・Web併用］について（佐古副会長）

次期薬剤師確保計画の計画素案（たたき台）について説明があり、前回計画の骨子を基本とし、データ更新や時点修正等を行う方針について協議した。また、道内の無薬局地域における医薬品アクセスの確保の現状や薬機法改正を踏まえた新たな医薬品販売制度等について説明があり、意見交換を行った。

医師招聘に掲載をご検討中の医療機関の皆様へ

北海道医報では医師招聘ページへの掲載を常時募集しております。以下の募集要項をご覧のうえ、掲載原稿とともにお申し込みください。なお、誌面のほか北海道医師会ホームページにも掲載されますのでご了承ください。

広告料金：１回につき5,500円（税込）
支払方法：指定の口座への振込または郵便振替による後払い
締め切り：掲載前月の15日ごろまで
問い合わせ先：北海道医師会　事業第一課
TEL 011-231-7661　FAX 011-241-3090　E-mail ihou@m.doui.jp